

「政治、原点は平和」 藤井氏が在職25年表彰

民主党の藤井裕久衆院議員(比例南関東)は6日、衆院本会議で議員在職議員表彰を受けた。

大蔵省(現財務省)出身の藤井氏は、大蔵委員長や大蔵政務次官、蔵相を歴任。神奈川新聞社の取材に「自分なりに日本の経済・行財政の姿がよくなるよう全力を尽くした。しかし、残念ながら必ずしもうまくいっておらず、責任の一端も感じている。残された期間、財政再建のため尽くしたい」と話した。

参院で野党が過半数を占める「ねじれ国会」の現状には「いろいろ困難な時代があったが、二大政党制に向け、ようやくここまできた」と感慨深げに語った。

自身が東京大空襲を実体験したことも挙げ、「幼い友達をずいぶん失った。繰り返してはいけない。今の若い議員は戦争を観念的にしか知らない。これは怖いこと。本当の政治の原点は平和だということを考えてほしい」と次世代の政治家に注文を付けた。

藤井氏は1977年、参院選全国区で自民党公認で初当選。90年、旧衆院神奈川3区で当選。93年、自民党を離党し、細川、羽田内閣で蔵相に就任した。現在、民主党最高顧問を務めている。